

# 電気バスで震災遺構を巡ろう



南阿蘇村と九州電力株式会社との連携事業のひとつとして、南阿蘇村や関係機関で整備した震災遺構などを、村内外に広く周知することを目的に、「電気バスで巡る！南阿蘇村震災遺構周遊モニターツアー」を実施します。実施の詳細は下記のとおりとなっていますので、ぜひご参加ください。

予約申込・詳細はコチラ▶

## 電気バスで巡る！南阿蘇村震災遺構周遊モニターツアー行程表

	午前便	午後便
出発（立野小学校）	09:30	13:40
出発（立野駅）	09:35	13:45
震災遺構めぐり	数鹿流（すぎる）崖之磯展望所 ↓ 旧東海大学阿蘇キャンパス ↓ 旧長陽西部小学校 ↓ 新阿蘇大橋展望所ヨ・ミュール	
到着（立野駅）	12:25	16:35
到着（立野小学校）	12:30	16:40

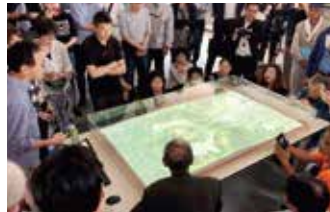
- ツアー概要** 12月12日までの土曜日、日曜日、祝日  
午前午後、各1便ずつ約3時間 ※ガイドも同乗します
- 参加費** 無料（アンケートに協力していただきます）
- 申込先** （一社）みなみあそ観光局  
右上QRコードから申し込みください  
※申込締切は、ツアー運行前々日の12時まで
- その他** 見学箇所の一つである「旧長陽西部小学校」は、金曜日も午前10時から午後4時まで見学可能です。



数鹿流崩之碑展望所



旧東海大学阿蘇キャンパス

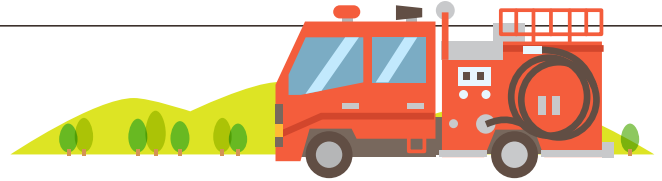


旧長陽西部小学校



新阿蘇大橋展望所ヨ・ミュール

# なんでも 南部分署



## 住宅防火 いのちを守る10のポイント

全国的に火災の発生件数は減少傾向にあります。火災の多くが住宅部分から発生し、毎年多くの方が亡くなっています。住宅火災で亡くなった人の約7割が65歳以上の高齢者となります。次の「住宅防火 いのちを守る10のポイント」を確認して、火災を発生させないように注意し、万一に備えて火災による被害の拡大を防ぐようにしてください。

### 「住宅防火 いのちを守る10のポイント」

#### 4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

#### 6つの対策

- ①(出火防止) 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する
  - ②(早期覚知) 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
  - ③(延焼拡大防止) 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する
  - ④(初期消火) 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく
  - ⑤(早期避難) お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に把握し、備えておく
  - ⑥(地域の助け合い) 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策をおこなう
- 私の家は大丈夫と考えずに、4つの習慣を心掛け、6つの対策で火災から大切な「いのち」を守りましょう!!

**住宅防火 いのちを守る10のポイント**

**4つの習慣**

- 1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

**6つの対策**

- 1 出火防止: 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する
- 2 早期覚知: 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 延焼拡大防止: 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する
- 4 初期消火: 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- 5 早期避難: お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に把握し、備えておく
- 6 地域の助け合い: 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策をおこなう

消防庁 | 阿蘇広域消防本部予防課  
TEL: 0967-34-0119

〈問い合わせ〉 阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL0967(62)9034 火事・救急 119